

【第3号議案】

令和5年度事業報告及び補正予算（案）について

1 令和5年度事業報告

(1) 瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けた準備

芸術祭 2025 の開催に向け、事業の取組みに関する方針の策定、アートプロジェクトの準備、受入態勢の検討などの諸準備を行うとともに、広報やサポーター獲得に向けた活動などに取り組んだ。

① 取組方針の作成

ア 取組方針の策定

令和5年9月10日に開催した瀬戸内国際芸術祭実行委員会第32回総会において、次回の芸術祭の開催趣旨、会期、会場、基本的な考え方などの開催概要のほか、アートプロジェクトやイベントの展開方針、来場者の受入態勢、広報活動、ボランティア運営など、各事業の実施概要等を定めた取組方針を作成した。

イ 取組方針の改訂

【第2号議案のとおり】

② アートプロジェクト・イベントの準備

ア アーティストの選定及び作品の制作

会場ごとの作品の制作準備を行った。より地域に密着した作品制作ができるよう、作家による現地見学会などを実施した。

期 間	10月12日（木）～10月14日（土）
見学場所	西の5島（沙弥島、本島、高見島、栗島、伊吹島） 新規エリア（さぬき市、東かがわ市、宇多津町）
参加者数	87名（延べ人数）

イ 作品公募の実施

各会場の地域資源を活かしたアートプロジェクトを募集することを目的に、作品公募（令和5年9月に公募要項を発表、11月に応募を受付）を行ったところ、国内外から638組、725点の応募があった。

応募の内訳：国内 470組（約73.7%）、540点（約74.5%）  
国外 168組（約26.3%）、185点（約25.5%）

③ 人材育成事業

県内で活動する若手芸術家等の発想力や表現力のレベルアップを図るとともに、県内で後進の指導・育成に携わってもらい、人材育成の好循環を目指すことを目的に、芸術祭の開催趣旨や瀬戸内の歴史、文化、民俗等を学ぶ講座や現地研修等を行う「瀬戸内アート塾」を開催した。

期間	8月19日（土）～8月26日（土）計8日間
参加者数	18名（うち香川県居住5名、出身2名、海外出身2名）
内容	ディレクター講義、フィールドワーク、滞在制作ワークショップ等

#### ④ 広報

芸術祭 2025 に向けて、SNS や新たに制作した芸術祭のPRパンフレットを活用して、芸術祭のイメージを広く発信することに努めた。

芸術祭の開催趣旨やこれまでの成果等について広く国内外に発信するため、アーカイブの整理も進めながら、プロモーション活動として、令和6年1月に日本外国特派員協会でのトークイベント等を実施した（参加者約50名）。

#### ⑤ 交通の整備

##### ア 海上交通

会場の島々へのスムーズな移動の実現や輸送力の確保に向け、既存航路の増便や臨時航路の開設について関係事業者等と協議調整を行った。また、来場者が集中しやすい時期の臨時便運航についても協議調整を行った。

##### イ 島内対策

島内バスの効率的な運行ルートやダイヤ設定を随時検討し、必要な輸送力を確保できるよう、地元市町等と協議調整を行った。

#### ⑥ 来場者対応

会期中の受入環境の向上を図るため、来場者の周遊を現地でサポートする案内所の設置について、最適な場所や効率的な人員配置等を検討した。

#### ⑦ ボランティアサポーター

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、ウェブサイトや勉強会等を通じてボランティアサポーター「こえび隊」の募集活動を行った。

また、地元でのサポーターづくりのために、様々な層への説明会を実施するとともに、香川県・岡山県の主要企業や大学等に向けて、ボランティア参加の働きかけを行った。

＜サポーター募集説明会＞

日程	場所	内容	参加者数
令和5年10月21日（土）	高松	「瀬戸内国際芸術祭2010 前夜を振り返る」	会場 26人 オンライン 18人
令和5年11月25日（土）	高松	「香川県の文化芸術の土壌について」	会場 21人 オンライン 6人
令和5年12月9日（土）	豊島	「豊島美術館ができるまでとその後」	会場 27人 オンライン 17人

## ⑧ チケット、グッズ

過去の芸術祭でのチケットやオフィシャルグッズの販売傾向等を分析し、芸術祭 2025 に向けた制度設計について検討を行った。オフィシャルグッズについては、販売実績や市場の動向等を分析し、来場者のニーズに応じた魅力的な商品の開発の検討を行った。

## ⑨ 寄付・協賛等

芸術祭 2022 の協賛企業・団体に対して、芸術祭 2022 の実績を報告するとともに、芸術祭 2025 の取組方針の概要説明を行うなど、企業との関係性の強化に向けた取組みを行った。また、芸術祭 2025 の寄付・協賛獲得に向けてリーフレット等を制作するとともに、県内外企業等への協賛依頼の取組みを開始した。

## (2) 継続作品の運営等

過去の芸術祭作品を有効活用し、芸術祭の開催年以外の年においても、会場の島々を訪れてもらえるよう、継続作品の公開や芸術祭 2025 につながるようなイベントを実施した。

### ① 継続作品の公開運営（実行委員会作品）

芸術祭 2022 の作品の一部を継続作品として公開した。

屋外作品については、原則、常時鑑賞可能とし、屋内作品については、多くの来場が見込まれる時期を中心に公開した。

会場	開館日程	作品	来場者数 (延べ数)
豊島 ※	① 原則毎週土～月(臨時営業あり) ② 原則毎週土日	① 島キッチン ② ヒ°ヒ°ロッセイ・リスト作品	① 17,416名 ② 3,271名
大島	6月～11月の第2土日 計12日間	青空水族館 等 計11作品	562名
女木島	8月11日(金)～14日(火) 計4日間	名画座 等 計4作品	243名
男木島	10月7日(土)～9日(月)、 14日(土)・15日(日) 計5日間	男木島パビリオン 等 計5作品	982名
本島	2月23日(金)～24日(土) 3月17日(日) 計3日間	咸臨の家 等 計4作品	667名

※豊島分の実績は2月末時点

### ② 継続作品の維持管理

芸術祭の会場におけるアート資源の集積を図るため、継続作品の維持管理等を適切に行った。

### ③ イベント等の実施

#### ア アートイベント

地域の祭りや行事、作品の公開等と連動させながら、魅力あるイベントを開催した。

開催したイベントは、芸術祭 2025 も見据えながら、これまでの芸術祭の作品や地域特有の資源を活用した、瀬戸内の島々の魅力の継続的な情報発信や島の活性化につながるものとした。

主なプログラム	日程	会場	参加人数
島のお誕生会	2023年4月～2024年2月 毎月計11回実施 (10・11月は合同開催)	豊島	約500名

#### イ オフィシャルツアー

瀬戸内の食材を使った料理や、島にまつわるトークを実施するなど、瀬戸内の環境、食、教育など様々なテーマに応じたスペシャルツアーを実施した。また、国内外の富裕層に向け、高付加価値化したプレミアムツアーを実施した。

<スペシャルツアー>

日程	参加者数
第1回 8月19日(土)	25名
第2回 11月5日(日)	10名

<プレミアムツアー>

日程	参加者数
第1回 9月11日(月) - 13日(水)	19名 (3回の合計)
第2回 11月20日(月) - 22日(水)	
第3回 11月27日(月) - 29日(水)	

#### ウ 島間交流事業

芸術祭の会場となった島の住民が、他の芸術祭の会場の住民と交流するとともに、作品制作・管理や芸術祭運営といった芸術祭活動の協働体制について、学ぶ機会を提供した。

#### エ 学校連携事業

未来の瀬戸内を担う若者や子どもたちが、地域の魅力や課題に触れるとともに、自分の将来について考える機会を創出するため、香川県教育委員会や香川県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する課外活動等を実施した。

##### ●県教育委員会生涯学習・文化財課との連携事業

- ・せとうち高校生探究&情報発信プロジェクト  
～島々に学び、瀬戸内を発信する～

日程	7月26日(水)、7月29日(土)～8月2日(水)、 8月24日(木)
参加者数	44名

内容	オリエンテーション、島でのフィールドワーク、 プレゼンテーション
----	-------------------------------------

● 小学校での瀬戸内国際芸術祭に関するレクチャー

・ 高松市亀阜小学校

日程	令和5年7月12日(水)
内容	講師派遣

オ SETOUCHI 企業フォーラム 2023

芸術祭 2022 のパートナー企業等の協賛企業・団体を対象に SETOUCHI 企業フォーラムを開催し、芸術祭の会場である直島、豊島、男木島の視察や有識者とのセッションを通して、企業経営者などに対して芸術祭の目的や地域の変化についての理解を深めた。

日程	参加者
10月14日(土)・15日(日)	22名参加(企業・団体数 19)

④ 広報活動

公式ウェブサイト、SNS、パブリシティ等を活用して通年の活動を広く発信するとともに、芸術祭 2025 に向けた機運の醸成に取り組んだ。

## 2 令和5年度補正予算（案）

### (1) 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

#### ◎収入

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
負担金	25,200	25,200	—	
香川県	10,500	10,500	—	
高松市	5,250	5,250	—	
丸亀市	1,050	1,050	—	
坂出市	1,050	1,050	—	
観音寺市	1,050	1,050	—	
三豊市	1,050	1,050	—	
土庄町	1,050	1,050	—	
小豆島町	1,050	1,050	—	
直島町	1,050	1,050	—	
多度津町	1,050	1,050	—	
玉野市	1,050	1,050	—	
福武財団	0	0	—	
補助金・助成金	5,000	11,000	6,000	国庫補助金見込額の増
寄付金・協賛金	4,000	3,880	△ 120	
その他	7,000	5,500	△ 1,500	
前年度繰越金	259,407	278,774	19,367	
収入計	300,607	① 324,354	23,747	

#### ◎支出

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
計画策定・推進費	15,300	16,900	1,600	
アートプロジェクト費	59,580	25,150	△ 34,430	
作品制作費等	46,780	13,300	△ 33,480	事業執行に伴う減
イベント運営費	12,800	11,850	△ 950	
運営活動費	23,744	20,017	△ 3,727	
広報活動費	16,594	14,325	△ 2,269	
会場等運営費等	1,500	1,600	100	
事務局運営費	5,650	4,092	△ 1,558	
予備費	2,000	0	△ 2,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	81,778	81,778	—	
支出計	182,402	② 143,845	△ 38,557	

#### ◎令和5年度収支差額

収支差額（①－②）

180,509 千円

（翌年度 瀬戸内国際芸術祭推進費へ繰越）

## (2) ART SETOUCHI 運営費

### ◎収入

(単位：千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
補助金・助成金	34,192	22,500	△ 11,692	国庫補助金見込額の減
チケット・グッズ等販売収入	1,180	940	△ 240	
芸術祭開催事業費からの繰入金	81,778	81,778	—	
収 入 計	117,150	① 105,218	△ 11,932	

### ◎支出

(単位：千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
作品継続費	55,750	54,200	△ 1,550	
作品管理費	35,300	36,250	950	
イベント運営費等	20,450	17,950	△ 2,500	
運営活動費	60,400	49,830	△ 10,570	
広報活動費	3,700	2,400	△ 1,300	
会場運営費等	56,200	47,030	△ 9,170	事業執行に伴う減
事務局運営費	500	400	△ 100	
予備費	1,000	0	△ 1,000	
支 出 計	117,150	② 104,030	△ 13,120	

### ◎令和5年度収支差額

収支差額 (①－②)

1,188 千円

(翌年度 作品維持管理費へ繰越)